



議会だより

No.146

発行
令和元年
10月25日(金)



「楽器経験がない」「楽譜が読めない」方でも大丈夫です。
素朴で心癒されるオカリナをぜひ一緒に吹いてみませんか。

P.2 平成30年度決算を認定

P.3 意見書提出 **議会から10項目**

P.4 分科会で徹底審査！

P.7 一般質問 **4名が登壇！**

サークル紹介 No.2

《オカリナサークルの活動状況》

◎活動内容

イベントや訪問活動での演奏、小学校でのオカリナ教室

毎月第1・3金曜日 13:30～

川棚町中央公民館（見学自由）

◎代表 植垣 研二

◎連絡先 0956-83-2808

平成30年度決算を認定!

令和元年9月定例会は、9月10日から9月30日まで開かれ、平成30年度決算、令和元年度補正予算、条例の制定・改正、人事案件等の審議を行いました。

平成30年度決算については、本会議において説明を受け、質疑を行った後、議長を除く全議員による決算審査特別委員会を設置して審査を行いました。

決算審査特別委員会での主な質疑

問 東彼商工会と締結した「消防団活動の充実強化に向けた支援に関する細目協定」の内容は。

答 商工会会員事業所の団員に対する出勤配慮などである。

問 女性消防団員の入団への取り組みは。希望により新たに4分団に1名入団されたが、積極的な取り組みはなされていない。

答 「川棚町しおさいの湯健康いきいき利用券」の配布方法や利用方法の検討とは。

問 世帯員数に関係なく1世帯5枚の配布や未使用券の譲渡について検討する。

答 是幹農道川棚西部地区の進捗状況は。

問 土工ペースで33%、舗装完了19%で、総事業費75億円に対し、平成30年度未までの執行額は26億円(35%)である。

答 下水道事業会計が企業会計へ移行したが、使用料の値上げは。

問 厳しい経営であるが、値上げにならないよう努力する。

答 ないよう努力する。

本会議での討論(要旨)

一般会計決算
反対討論 なし
賛成討論 (堀池議員)

社会資本整備総合交付金事業等10の事業が繰越となっているが、その他の事業は予算に基づき合理的、能率的に処理されており、賛成する。

国民健康保険事業特別会計決算
反対討論 なし
賛成討論 (堀池議員)

住民の健康維持を推進すべく、各種事業に積極的に取り組まれ、予算に基づいて適切な執行がなされており、賛成する。

後期高齢者医療特別会計決算
反対討論 なし
賛成討論 (小田議員)

高齢者にとって安心して健康的に生活するうえでなくてはならない制度であり、適切に運営されており、賛成する。

介護保険事業特別会計決算
反対討論 なし
賛成討論 (堀池議員)

高齢化社会において介護保険事

業は必要不可欠である。多種にわたるサービス事業を積極的に取り組まれ、予算に基づいて適切に執行されており、賛成する。

採決

一般会計決算ほか3件は、討論のあと採決の結果、全会一致で認定しました。
 観光施設事業特別会計決算ほか2件は、討論はなく全会一致で認定しました。



ギカイのはまな

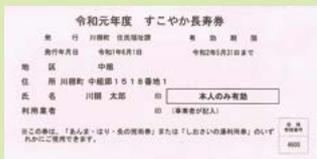
Q 閉会中の委員会の継続調査とは?

A 委員会の所管事務のうち特定の案件について、閉会中も調査を行うこと。委員長から申し出て、本会議で議決を受けを行います。



内容検討を

「すこやか長寿券」については利用率が低いので、制度の内容を検討されたい。



支援を!!

肥育牛経営にあたっては、子牛価格の高止まり、飼料価格の高騰により経営農家に大きな影響を与えている。行政としても何らかの支援ができないか検討されたい。



有効に活用して

光ブロードバンド基盤整備事業については、赤字運営解消に向け施設の有効活用等の対策を検討されたい。



早く完成して

社会資本整備総合交付金事業について、用地交渉が進まず難航しているが、早期に協力を得られるよう努め、一刻も早く事業を完成されたい。



移住定住の促進を

空き家バンクを含め、移住・定住促進の取り組みを積極的に図られたい。



ちょっと考えて!

「川棚町しおさいの湯健康いきいき利用券」については、町民の健康増進につながるよう、配布方法や利用方法などの検討を図られたい。



優しい教育環境を

学校活性化事業を活用し、子供たちに優しい教育環境を整備し、不登校の解消に向けて努力されたい。



団員確保を

消防団員の確保には、消防後援会などでも取り組まれているが、行政においても積極的に団員確保に努められたい。



夏季訓練風景

生活環境の充実を

地区からの環境整備要望については、今後も誠意を持って対応されたい。



工事完了後の小串郷踏切付近

値上げせんでネ!

下水道事業会計・水道事業会計とともに、企業会計上の決算内容は厳しい状況が当面続くようであるが、使用料等の値上げにならないよう長期的なビジョンをもって経営に努められたい。



川棚浄化センター

～98億円、どのように使ったか?～

平成30年度決算を2分科会で徹底審査!!

決算審査においては、2つの分科会に分かれてそれぞれ所管する課・室等からの説明を受け、また現地調査を行うなど、慎重な審査を行いました。その後、決算審査特別委員会において総合的な審査を行いました。各分科会での主な質疑の概要は下記のとおりです。

- 各分科会の所管
- 第1分科会：議会事務局・総務課・企画財政課・新庁舎建設室・税務課・健康推進課
住民福祉課・会計課
 - 第2分科会：産業振興課・農業委員会・建設課・ダム対策室・教育委員会・水道課

一般会計

総務課

〈災害対策費〉

問 Jアラートの機器更新の内容は。

答 警報を受信してから2秒以内に自動で放送できるよう受信機の更新を行った。

新庁舎建設室

〈新庁舎建設費〉

問 平成30年度の事業は予定どおり実施できたのか。

答 新庁舎建設基本設計業務など、すべて当初の予定どおりに完了した。



新庁舎建設のため仮保管中の震洋

企画財政課

〈財政管理費〉

問 ふるさと納税返礼品の商品開発の状況は。

答 平成30年度に㈱サイバーレコードに委託し、商品開発に取り組んできた。新しい返礼品として令和元年12月までには追加される見込みである。

〈移住・定住促進事業費〉

問 空き家バンク登録の呼びかけは。

答 平成30年度には2件登録があった。ホームページや広報紙で登録の呼びかけを行っているが、さらに募集の方法を検討している。

税務課

〈賦課徴収費〉

問 滞納対策の取り組みは。

答 滞納者に役場へ出向いてもらい、納付の誓約をしてもらうなど、納税意識を高めることに重点を置いた取り組みをしている。

住民福祉課

〈老人福祉費〉

問 すこやか長寿券の利用状況は。

答 平成30年度から利用期間を2カ月延長したが、利用率は25・5%と大きな変化は見られなかった。

〈児童福祉総務費〉

問 平成28年度から行っている3世代同居・近居促進事業は最終年度であったが、成果はどうだったか。

答 平成30年度は5件（新築のみ）の補助を行った。そのうち町外居住者からの申請は2件あり、8名の方が転入されている。



園庭内防護柵現地調査（小串保育園）

健康推進課

〈保健衛生総務費〉

問 乳幼児の定期健診は適正に行われているか。

答 1歳6カ月・3歳児健康診査は自治体の義務として実施しなければならぬので、未受診の家庭には、保健師の訪問などを行っている。

5歳児発達健康診査については、保育園・こども園と協力し、専門の病院などへの相談につなげている。

〈健康増進費〉

問 「一川棚町しおさいの湯健康いきいき利用券」の利用状況は。

答 実績は、利用枚数1万5407枚、利用率57・9%となっている。

産業振興課

〈農業委員会費〉

問 非農地通知を受けたらどうなるのか。

答 農地転用などの手続きも必要なく、自由に地目変更できる。

〈畜産業費〉

問 子牛価格の高止まりの原因は。

答 全国的に繁殖農家が減っているのが原因と思われる。

建設課

〈土木使用料〉

問 平成29・30年度は公営住宅使用料の滞納額が増加しているが。

答 減少するよう努める。

問 特定公共賃貸住宅使用料の家賃を下げたり、改修を行うことはできないか。

答 規定上、家賃は下げられない。改修などの方法に関しては財政当局と検討してみる。

〈道路新設改良費〉

問 社会資本整備総合交付金事業の状況は。

答 東臨港線は用地交渉で理解を得られず、今後努力し協力を得ていきたい。

教育委員会

〈学校管理費〉

問 小中学校の不登校児童・生徒は何人いるのか。

答 平成28年度末で18人、平成29年度末で16人、平成30年度末で14人である。

〈保健体育費〉

問 わがまちスポーツ推進事業の出前ホッケー教室、ホッケーフェスティバルの内容は。

答 ホッケーを身近に親んでもらうため、小学校・子ども園・子供会などで開催した。フェスティバルでは高校生やその家族、ホッケー部OBなどに参加してもらい、ミニゲーム等を行った。

国民健康保険事業 特別会計

問 国民健康保険事業の制度が広域化されたことによる効果は。

答 県からの保険給付費等交付金としての普通交付金が増え、保険給付費と同程度であるので、資金不足等の心配をしなくてよくなったが、制度が変わって間もないため、今後については、まだ見通しが立っていない。

観光施設事業 特別会計

問 各種改良費は今後増えていくのではないか。

答 経年劣化などを考えると、現状維持もしくは増えていくと思われる。

下水道事業会計

問 企業会計に制度が変わったが、今後の見通しは。

答 減価償却費が計上されるようになり今回は赤字となった。

介護保険事業 特別会計

問 認知症対策の取り組みは。

答 認知症サポーターの養成講座を行ったり、町内の医師と連携して認知症初期集中支援チームを組織し、認知症の症状がある方から相談を受けるなどの支援を行っている。

水道事業会計

問 老朽化した管路はまた残っているのか。

答 まだ相当残っているので、年次計画を立て平準化して布設替えを行っている。



町道上組西部線現地調査



出前ホッケー教室

主な補正予算



令和元年度 一般会計補正予算

本会議での主な質疑

児童福祉費

幼児教育・保育の無償化に係る認可外保育施設及び預かり保育等の利用給付費の追加

答

住民税非課税世帯の約2100世帯と、3歳児までの子育て世帯の約300世帯である。

問

プレミアム付商品券事業の対象者は。

商工費

プレミアム付商品券事業費の増額と、川棚町観光地づくり計画で3カ年かけ観光施設の整備改修を行う

答

2棟改修工事を予定していたが、追加交付があり3棟改修となる。

問

町営住宅新町団地の事業内容の見直しとは。

住宅費

町営住宅新町団地の屋根外壁改修工事の追加

答

戦時遺構である片島公園では、トイレや資料館機能を備えた交流拠点の整備。

問

「川棚町観光地づくり計画書」の概要は。

災害復旧費

7月の台風5号による農地・農業用施設災害に係る災害復旧費

答

土地再開発用地購入の詳細は。県有地の川棚港埋立地2・1haの購入希望があるため。

諸支出金

川棚港埋立地の土地再開発用地購入費



県有地の川棚港埋立地

「消費税10%への引き上げ中止を求める意見書」を政府に対し提出を求める陳情

陳情者 東彼民主商工会会長

戸崎 和久

事務局長

朽原 明浩

陳情事項

「消費税10%への引き上げ中止を求める意見書」を政府に提出することを求める。

本会議にて討論のあと、採決の結果、賛成少数にて不採択と決定した。

人事案件

川棚町教育長の任命に全会一致で同意しました。



たけした しゅうじ
竹下 修治氏
(惣津)

川棚町教育委員会委員の任命に全会一致で同意しました。



なかほら やすひこ
中原 泰彦氏
(猪乗)

人権擁護委員候補者の推薦に全会一致で適任と認めました。



いしばし ふさえ
石橋 房江氏
(平島一)

一般質問



4名が登壇！

一般質問とは……

町政全般の諸課題について、本会議で町長等に質問するものです。

制限時間は質問答弁合せて50分です。

会議録はホームページ及び中央公民館図書室で閲覧できます。

- ① 福田 徹 議員 (P.8)
 ☆絵本「だいちゃんとうみ」の顕彰モニュメントの設置を
 ☆人口減少化対策として、誘致企業や移住者に補助金でない優遇策を
- ② 堀田 一 徳 議員 (P.9)
 ☆防災体制の整備は
 ☆運転免許証返納者の支援について
- ③ 田口 一 信 議員 (P.10)
 ☆小児科医療体制の充実を
- ④ 波戸 勇 則 議員 (P.11)
 ☆「川棚町観光づくり実施計画」の内容は

賛否表

○は賛成 ●は反対

	議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	結 果	表決数 賛成:反対	福 田 徹	小 谷 龍 一 郎	毛 利 喜 信	初 手 安 幸	堀 池 浩	山 口 隆	小 田 成 実	田 口 一 信	高 以 良 壽 人	堀 田 一 徳	炭 谷 猛	水 谷 末 義	波 戸 勇 則
川棚町教育長の任命について同意を求める件	同 意	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
川棚町教育委員会委員の任命について同意を求める件	同 意	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員候補者の推薦に関する件	適 任	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和元年度川棚町一般会計補正予算（第2回）ほか5件	原案可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
川棚町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例 ほか5件	原案可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の取得（小型動力ポンプ付積載車購入の件）	可 決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度川棚町一般会計決算認定	認 定	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度川棚町国民健康保険事業特別会計決算認定	認 定	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度川棚町後期高齢者医療特別会計決算認定	認 定	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度川棚町介護保険事業特別会計決算認定	認 定	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度川棚町観光施設事業特別会計決算認定	認 定	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度川棚町下水道事業会計決算認定	認 定	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度川棚町水道事業会計決算認定	認 定	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



福田 徹 議員

絵本「だいちゃんとうみ」の 顕彰モニュメントの設置を

読書推進活動等の方々の 意見を伺ってみたい

教育長

絵本「だいちゃんとうみ」は、大村市出身である絵本作家太田大八氏の代表作で、平成4年、「第15回絵本にほん賞」を受賞している。物語の内容は、川棚町が舞台であり、作者自身を主人公として、子供の頃白石のいとこの家を訪れた夏休みのことが書いてある。自然豊かな大村湾で早朝から日が暮れるまで、自然にとっぷりと浸って遊びつくす子供たちの姿が描かれている。

福田 絵本「だいちゃんとうみ」には、大事な一場面として、白石港の石積みのかき防が登場する。いとこの家に遊びに来られた時のごまが目に浮かぶように描いてあり、素晴らしい絵本である。

この絵本をもっと町民に読み親んでもらい、当時の美しい海に思いをはせ、故郷の海を大切にすることを育んでいくため、白石港に顕彰のモニュメントを設置できないか。

教育長 この絵本の良さについては、議員と同様の考えを持っている。中央公民館図書室及び各小中学校図書室に一冊ずつ所有しており、ポップの作成や、町広報紙、教育委員会広報誌スマイル、学校だより、町ホームページにも掲載し、この絵本を紹介したい。また、読書フェスティバルや愛育食育フェスティバル等のイベントにおいて、読み聞かせボランティアの協力を得て、読み親しんでもらえるような活動に取り組みたい。

顕彰のモニュメントについては、その方の功績がどのようなものか等を考えなければならぬので、読書推進活動等を行っている方々のご意見を伺ってみたい。

福田 太田大八さん個人の功績を顕彰するというよりは、この本によって広く全国的に川棚町をアピールできると思うので、その観点から記念碑的なものを設置できないか。

教育長 全国への発信方法はいろいろあると思う。モニュメントについては、その基準が十分練られていないので、もう一度考えてみたい。



**人口減少対策として、
誘致企業や移住者に補助
金でない優遇策を**

全国1800自治体のうち半数が消滅自治体になるといふ推測もある。本町の人口も平成12年の1万5325人をピークに減少しており、国立社会保障・人口問題研究所の推計では、2060年に8360人と予想されている。

福田 人口減少対策として、誘致企業や移住者に対し高額な補助制度を設けている自治体もあるが、それでは財政負担が大きいので、例えば固定資産税の10年ごとの優遇策など、歳出を伴わない優遇策は考えられないか。

町長 「まち・ひと・しごと創生法」が制定され、平成27年12月に「川棚町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少対策に取り組んでいる。固定資産税の減免も、県の補填がないので財政上負担となる。例えば若者定住のための宅地分譲事業は、歳出があっても税収等があるので効果的な施策と言える。このような施策に引き続き取り組んでいきたい。



堀田 一徳 議員

防災体制の整備は

災害に適切に対応するため、
取り組みを進める

町長

「川棚町地域防災計画書」が地域住民の生命、身体及び財産を保護する目的で策定されている。

災害発生時の対策本部の設置など普段からの体制整備の必要性を感じている。

堀田 職員防災知識及び活動についての研修会などを計画的に開催する考えはないか。

町長 昨年の西日本豪雨の時の教訓として、職員への研修の必要性を感じた。

そこで、今年5月に、防災担当係長を「災害に強い地域づくりと危機管理」という専門研修を受講させ、私自身も市町村長を対象とする「災害対応力の向上」を目的とした研修を受講した。

国や県の専門家派遣事業を活用し職員研修を計画している。

堀田 職員の招集訓練等はしているのか。

町長 具体的な招集訓練はしていないが、机上訓練は必要と考えている。

台風や大雨が予想されるときは、課長会議を開催し、各課長の役割分担を確認している。

総務課長 避難準備情報の早めの発令により避難を促し、避難所の設営と職員の対応体制の確立が重要である。

今後、職員の研修に取り組む。



堀田 災害時の防災服着用の規定はあるのか。

町長 災害時の防災服に関する規定はない。

今後、避難所の要員配置などの計画とあわせて検討していく。

堀田 小型無人飛行機（ドローン）を持っている団体や個人と提携し、被災状況の迅速な確認を行い適切な対応に活かす考えはないか。

町長 災害時の活用について、町内のドローンを所有する団体との協約締結を検討したい。

堀田 危険が迫った際に消防団員が自ら身を守る「退避判断基準」はあるのか。

町長 平成26年8月に「川棚町消防団安全管理マニュアル」を作成し、各分団へ配布している。

堀田 学校体育館は災害時の避難所となっているが、備蓄倉庫を設ける考えはないか。

町長 5年を目途に物資備蓄を進めたい。

指定避難所への物資備蓄については、学校体育館を含め各施設管理者と協議したい。



運転免許証返納者の支援について

高齢になると死亡事故を起こしやすい傾向にある。近年、運転免許証の自主返納が増加している。

堀田 運転免許証返納後は買い物や通院など、生活に不便が生じるので、自主返納者全員に、新たな制度としてタクシー利用券を配布できないか。

町長 他市町の制度を参考に支援制度の構築を図っていく。

小児科の医療体制の充実を

町長

経過を見守りながら対応する



田口 一信 議員

町内の小児科医療は、現在長崎川棚医療センターだけとなった。

町民に利用しやすい小児科医院の存続が望まれ、子育て対策に力を入れている本町としても、小児科の医療体制の維持は重要な課題である。

田口 小児科の開業医の先生が亡くなりました。引き継いでくださる先生の経営に対して、支援措置を講じる考えはないか。

町長 特定の医院に対する支援措置は、既存の医院との均衡上考えていない。

田口 他町では初期投資等に補助金制度を設けているが、助成等の考えはないか。

町長 町内の開業医の後継者を調査してみると、後継者不足が危惧されている。そこで県や、郡の医師会等と協議し対策を練っている。その中で町が手助けできることがあれば検討する。

田口 小児科医院の存続に努力すべき責務を負うのは、子育て対策に力を入れる町行政であると考えるので、町が企業誘致をするくらいは気持ちで、小児科医院の誘致に積極的に動くべきではないか。

町長 町内の医療機関では医師不足が発生しているので、県や保健所、郡医師会等で情報の公開や収集を行っている。

小児科医院については、こういった形で引き継ぐか、ご家族の希望や条件があることであり、経過を見守りながら対応していく。

田口 これまで小児科医院が成り立っていたことを考えると、町が経営しても成り立つはずである。町が施設を引き継ぎ、医師を雇用して町立診療所を開設する方法もあると思うが検討できないか。

町長 平成30年に長崎川棚医療センターに小児科外来が開設されたばかりである。医師及び看護師等の病院スタッフの確保にも困難が予想されることから、町立での診療所の開設は考えていない。

田口 町立診療所の経営について検討はしていないのか。

町長 具体的な検討はしていないが、町立での診療所の経営は困難と考える。

副町長 医療に関する十分なノウハウもなく引き継いで、町ができるものではないと考える。





波戸 勇則 議員

「川棚町観光地づくり実施計画」 の内容は

主として大崎自然公園と 片島公園について整備する

町長

波戸 戦時遺構群の伝え方について、ボランティアガイド協議会との意見交換などの予定は。

事業期間は、令和元年度から3カ年の事業である。

町長 実施計画書はタイトルを「この町とまれ！かわたな観光消費五十億プロジェクト」とし、滞在型周遊観光を推進することにしており、目標値を設定して、主として大崎自然公園と片島公園について整備することとしている。

波戸 本町が策定したこの実施計画書の内容は。

長崎県観光審議会において、本町が策定した「川棚町観光地づくり実施計画書」を承認した。
この中で本町は「滞在型周遊観光の推進」を掲げ、地域資源（戦時遺構群）を活用した観光地づくり、訪日外国人誘客と消費拡大などを提案している。

波戸 東彼3町のグルメや観光地を利用した周遊型の観光ルートづくりを業者に委託できないか。

免税対応も含めノウハウを持った東彼商工会と連携し、推進していきたい。

町長 現在、東彼商工会においてキャッシュレス決済の導入状況の調査をしている。
4月現在でPayPay（ペイペイ）加盟店が49店舗、キャッシュレス対応が13店舗ある。

波戸 商店街のキャッシュレス化と免税対応は。

町長 平成29年3月に策定した「かわたな戦時遺構ガイドのすすめ」というボランティアガイドマニュアルを基にガイドをしていただいている。
今年6月に川棚協議会が設立されたので、年度内に意見交換会を行う予定である。

町長 平成28年に開催されたJRの長崎ステイネーションキャンペーンでは、県内全域において観光事業者を対象としたモニターツアーが実施され、本町にも立

ち寄る周遊観光プランが造成・販売されてきた。
今のところ、新たな周遊型の観光ルートづくりを業者に委託する考えはない。



委員長研修会

◎研修日 令和元年8月27日(火)

◎研修場所 長崎県市町村会館

◎研修内容

議長・副議長及び各常任委員会・特別委員会の委員長が出席し、新潟県立大学国際地域学部国際地域学科准教授の田口一博氏による「町村議会の委員会運営について」、及び流通経済大学スポーツ健康科学部教授の龍崎孝氏による「2019参議院選挙後の政局の行方」についての講演が行われた。



12月定例会の
お知らせ

12月上旬に
開催予定です。

Facebook開設しています

公式「川棚町議会 Facebook ページ」を開設しています。このページでは、議会のできごとや会議の予定、結果などをお知らせします。



川棚町議会

お知らせ

第8回 議会報告会を開催します

議会活動を直接町民の皆様へ報告・説明し、ご意見等を聞かせていただくため、町内3会場で議会報告会を開催します。多くの皆様のご出席をお願いいたします。

- 11月11日(月) 午後7時半～9時
- 11月14日(木) 午後7時半～9時
- 1 班 山手公民館
- 2 班 木場郷公民館
- 3 班 尾山集会所

(上記日程でご都合がよい会場においてください。)

あ
と
が
き

秋も深まり、夏バテを感じておられた方も体力の回復を感じておられるのではないのでしょうか。

さて、新しい委員会構成になって2回目の議会だより発行となりましたが、皆様の評価はいかがでしたでしょうか。

委員会では、今後も皆様に親しみを持って読んでいただけるような紙面作りに努めていきますが、感想やご意見等お寄せいただければ幸いです。
(高以良)

○9月定例会は、15人の傍聴がありました。

議会だより

編集特別委員会

委員長 堀池 浩

副委員長 高以良 壽人

小田 成実

田口 一信

炭谷 猛

水谷 末義

発行責任者

議長 村井 達己